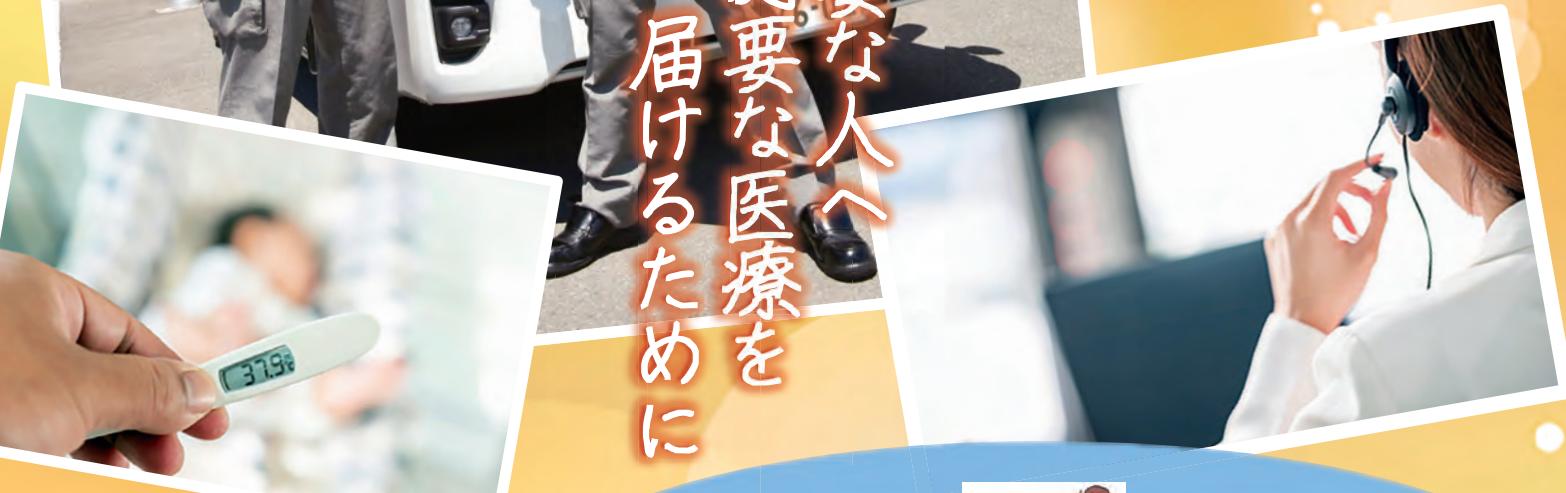
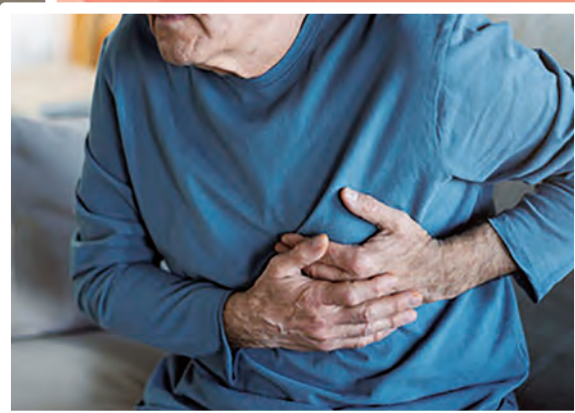


北上消防広報 FIRE SERVICE ACTIVITY ふれあい119



必要な人へ
必要な医療を
届けるために



救急車を呼ぶ？ 病院に行く？
様子を見る？

迷ったら、電話で相談！！

7 1 1 9

シャープ ナナ イチ イチ キュー

急な病気やけがをした際、どうしたらよいか迷った経験はありませんか？
そんな時に相談できるのが、岩手県救急安心センター「# 7 1 1 9」です。
今回は# 7 1 1 9を特集します。詳しくは、見開きをご覧ください。

長官賞
受賞

予防業務優良事例表彰 消防庁長官賞を受賞



令和7年5月30日の第9回予防業務優良事例表彰において、当消防本部の予防業務の取り組み事例が、消防庁長官賞を受賞しました。

この表彰は、消防庁長官が各消防本部の予防業務の取り組みのうち、他団体の模範となる特に優れたものについて表彰するもので、広く全国に紹介することにより、予防行政の意義や重要性を広く周知し、消防本部の業務改善に資することを目的とするものです。

当消防本部の取り組みは、管内に大規模な半導体工場を有する四日市市消防本部（三重県）、ひたちなか・東海広域事務組合消防本部（茨城県）及び当消防本部の3消防本部において、特異的な構造となりやすい半導体工場に関して消防法令の指導内容を協議する「半導体工場に関する消防業務実務研究会の発足」という内容で、近年の予防行政の課題への取り組み及び地域の特性に応じた連携について高い評価をいただきました。

また、令和7年7月からは千歳市消防本部（北海道）も新たに加わり、4消防本部での情報交換がますます活発になっています。今後も安心安全な暮らしを守るため、予防業務に取り組んでまいります。

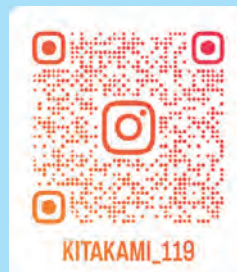


（Web会議の様子）

インスタ
開始

北上地区消防組合
Instagram

北上地区消防組合の公式Instagramを開設しました。このアカウントでは、火災予防、応急手当等の救急に関する情報のほか、消防に関するイベント情報、消防本部の活動等を発信します。



詳しくはInstagramで
kitakami_119 を検索！

火災
予防

秋の火災予防運動

これから冬に近づくにつれ、暖房器具を使用する機会が増えるのではないだろうか。電気ストーブなどの火を使わない暖房器具も、使用方法を間違えると火災につながる可能性があります。
使用前の点検を行い、使用中は燃えやすい物を近くに置かないなど火災を起こさないよう注意をお願いします。
火災予防運動期間中だけでなく、年中無休で火の用心！



急ぐ日も
足止め火を止め
準備よし

2025年度全国統一防火標語



（2025年度全国統一防火ポスター）
令和7年11月9日～15日

発行：北上地区消防組合 編集：消防本部広報編集委員会

〒024-0083 岩手県北上市柳原町二丁目3番6号

電話（消防本部代表）：0197-64-1122

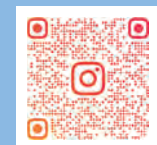
ホームページ



フェイスブック



Instagram



日頃から確認できるよう、このページを見やすい場所に掲示しましょう

救急安心センター #7119 の利用方法



夜間に子どもが急な発熱をした、頭をぶつけてしまった、嘔吐している、けいれんしているなど判断に困ったときは、小児救急医療電話相談「#8000」をご利用ください。

電話番号：局番なし **#8000** または **019-605-9000**
対応時間：午後7時～翌朝8時（年中無休）
相談費用：無料（通話料は利用者負担）

小児救急医療 電話相談 #8000

こども救急ガイドブック

日頃の備え



日頃あわてないために、日頃からご覧いただき、いざというとき役に立ちましょう。



こども救急ガイドブック

緊急！

こんなときにはすぐに119番！！

こども（15歳未満）



こんなとき **#7119**

令和7年4月1日～
運用開始となりました

#7119 ってなに？

岩手県救急安心センター「#7119」とは、急な病気やケガをした際、「救急車を呼んだほうがいいのか」、「今すぐ病院に行ったほうがいいのか」などで迷ったとき、看護師等から電話でアドバイスを受けることができる**救急電話相談窓口**です。

電話口でお話を伺い、病気やケガの症状を把握し、応急手当をして様子を見るか、救急車を呼んだ方がいいか、自分で病院受診したらいいのか、受診できる医療機関はどこかなどを案内します。

なぜ **#7119** が必要？

救急車をいち早く傷病者の元に！

#7119を使っていたことで、緊急性の高いときには救急車の要請を、そうでないときにはご自身で医療機関を受診するなど、状況に応じた案内を受けることができます。救急車の台数には限りがあります。緊急性の高い傷病者の元にいち早く救急隊が駆けつけることができます。

隠れている重症者を発見するために！

「このくらいの症状で救急車：？」など様々な理由で救急要請をためらうこともあるかもしれません。もしかすると、その症状は一刻を争うサインかも！

隠れた重症者を発見し、手遅れにならないよう救急搬送につなげるのも#7119の重要な役割です。

安心を皆様に！

すでに#7119を運用している他の自治体のアンケート結果では、約9割の利用者が「役に立った」と感じています。

#7119は不安を抱えている方々に安心を提供します。



北上地区消防組合管内の救急搬送件数のうち、**約半数**が**軽症**の傷病者です。

本当に緊急を要する人のため、**#7119**を**活用**し、**救急車**の**適正利用**にご協力ください。

北上市・西和賀町の
相談件数：**237件**
（岩手県：3,638件）

頭痛
めまい
熱中症
主な相談症状
発熱
吐き気
出血

「#7119」利用状況
令和7年4月～7月の合計
（岩手県保健福祉部医療政策室調べ）

北上市・西和賀町からの#7119による相談**237件**のうち、**42件（約18%）**が緊急を要すると判定されています。

#7119を利用し相談することで、救急車を呼ぶかどうかを判断する手助けになるのではないのでしょうか。